



第12号

高知県立高知国際高等学校だより

高知県立高知国際高等学校 KOCHI KOKUSAI Senior High School

〒780-8052 高知県高知市鴨部2丁目5番70号

前期から夏休み、そして後期へ

校長 森本 民之助

本校は2学期制を導入していますので9月末をもって前期が終わります。短いですが10月1日～4日(4日間)の秋休みがあり、10月5日(火)から後期が始まります。前期には新入生応援プログラム、定期考査、ホームマッチ、進学補習、グローバル科パーソナルプロジェクト発表会などの行事は実施できましたが、一方で大阪リサーチや県内リサーチ、文化祭(あけぼの祭)などの行事が新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかったことは残念です。

本県はお盆明け頃から新型コロナウイルス感染症の拡大が著しく、県の感染防止対応ステージで最も高い「非常事態」、さらに「まん延防止等重点措置」の重点措置にもなりました。本校などの教育現場は、通勤通学の混雑緩和にも考慮し、始業時間を1時間程度遅らせ短縮授業とするとともに、大学進学講座や模擬試験、部活動なども制限をしての実施としました。その後、「まん延防止等重点措置」が解除されたこともあり、9月13日(月)には始業時刻や授業時間は通常に戻すことができています。本校での感染防止の対策は、これまでの取組(①マスクの正しい着用、②こまめな手洗い、手指消毒、③3密の回避)を確実に行っていきます。特にマスクを外す場面(昼食時及び部活動など)での行動や会話等には細心の注意を払い、昼食は各自の席で黙食することを9月末までお願いしています。また、毎日の定期放送でも感染防止に関する注意喚起を呼び掛けています。制限下での学校生活は身体的にも精神的にも負担があると承知していますが、現在の感染状況を思い、一人ひとりの責任ある行動をお願いしているところです。

話は変わって、本校の初めての夏休みが一月ほど前に終わりました。夏休み前に「この夏に何かこだわることの一つをやってみよう。そしてその体験を誰かに話そう。」という話をさせていただきました。夏休みのこだわり体験はできましたでしょうか。私のこだわり体験は7月末から8月初めにかけて和歌山県で開催された全国高等学校総合文化祭に参加したことです。参加する役割は開会式と全国代表者会議への出席でしたが、高校生が発表や展示などのパフォーマンスを繰り広げる各会場を時間の許す限り訪れることにしました。各部門(全22部門)の会場は和歌山県全域にわたっているので、あらゆる交通手段を使い、できるだけ多くの会場を訪問しましたが、さすがにすべてを訪問することはできませんでした。今年、本校が全国規模の大会やコンテストなどで活躍する場面は多くありません。しかし、近い将来、必ず本校の生徒の皆さんが多くのあらゆる場面で活躍することになります。今回、各会場を回りながら本校の生徒の皆さんが活躍しているところを想像し、とてもワクワクする気持ちになりました。来年度の全国高等学校総合文化祭は東京都で、また運動部関係の全国高等学校総合体育大会(インターハイ)は四国地域で開催されます。

いよいよ後期です。普通科とグローバル科探究コースでは11月17日(水)の授業研究大会にむけての授業研究が進んでいますし、グローバル科DPコースにおいては11月からディプロマプログラムが始まります。秋に向けて学校行事も学びもより充実してきます。新型コロナウイルス感染症の感染防止対策をしっかり行い、より工夫を凝らした教育活動に努めてまいります。どうぞ皆さん一人ひとりも油断することなく主体的にかかわって、よい後期にいたしましょう。

ごあいさつ

高知西高等学校・高知国際中学校・高知国際高等学校 PTA 副会長
(高知国際高等学校PTA会長) 眞鍋 隆裕

皆様こんにちは。眞鍋隆裕と申します。

息子が高知国際高等学校に通っており、このたび高知西高等学校・高知国際中学校・高知国際高等学校 PTA の副会長という大役を仰せつかりました。高知県高等学校 PTA 連合会の加盟にあたっては高知西高等学校と別に『高知国際中学校・高知国際高等学校』としての PTA 組織が必要ということで、こちらでは会長という重責を担うこととなりました。超スーパー凡人の私にできることは知れていますので、どうか皆様のお力を分けてくださいますようお願い致します。

先日、島根県で開催されました全国高等学校 PTA 連合会全国大会はオンライン開催となり参加できませんでしたが、開催県の島根や全国からたくさんの方々との関係者と情報が集まっていた。こういったものがあると知らず驚きましたが、様々な経験と繋がりを活かしていきたいと感じました。

東京2020オリンピック・パラリンピックはたくさんの方々の驚きと感動がありました。パラリンピックでは高知西高等学校の卒業生、藤原大輔選手がバドミントン混合ダブルスでの銅メダルを掴み取りました。おめでとうございます。コロナ禍による延期もあり困難な状況が続くなかで諦めずに努力してきた選手やサポートの姿に胸が熱くなりました。一人ひとりに物語があり、その違いを認め合えることの素晴らしさ、諦めずに挑戦することの偉大さを教わりました。

今年こそは学校での行事や PTA 活動を通じ、様々な経験や出会いがあることを楽しみにしていただけに、相次ぐ自粛や休止にため息が漏れる時間が続いているのですが、諦めずに今やれることを一つ一つ丁寧に頑張っていけば、そこから道が拓けていくと信じています。

皆様と皆様の大切な人が健康で過ごされることを、マスク無しの皆様の笑顔が見られる日が来ることを願っております。



※令和3年7月16日発行高知国際中学校高等学校通信第4号でお知らせした、高知県高等学校 PTA 連合会に加入した高知国際高等学校の PTA 会長は、眞鍋隆裕さんです。

ホームマッチ

延期になっていた令和3年度のホームマッチを7月19日(月)、20日(火)の2日間で行いました。1年生にとっては初めてのホームマッチでしたが、同級生だけでなく、2、3年生を相手に健闘しました。

★サッカー男子 第3位

サッカーで入賞することができたことはすごくうれしいですし、チームのみんなが最後まで楽しそうにプレーをしていたこともうれしかったです。

サッカー以外の競技をしていた人も応援してくれたり、他クラスの人も声をかけてくれたりしたので、ホームマッチを通して多くの人とコミュニケーションをとることができました。

自分にとって良い経験になったと思っています。



★クイズ 第2位

私たちはクイズで決勝まで残りましたが、惜しくも三年生に敗れました。しかし、予選第1ラウンドから準決勝までの対戦では、全て1位通過でした。



その理由もあってか、決勝には自信を持って前向きに挑むことができました。また、決勝の対戦には予想以上に多くのクラスメートが応援に来てくれ、クラスの団結力や優しさに感動しました。多くの先輩方と対戦し、勝ち残れたのは驚きでしたが、仲間と助け合いながら問題に取り組んだことが結果につながったのかなと思います。

★ジエンガ 第2位

今回のホームマッチ、ひたすら楽しかったです！しかし、試合に勝つごとに、勝ちたいという気持ちとプレッシャーが増して、平常心を保つことが難しかったです。決勝では、緊張感を持ちながらも、試合を楽しむことができました。

今回は惜しくも2位という結果に終わりましたが、最後まで勝ち進めたことを誇りに思います。ここまで健闘ができたのも、ひとえにクラスメートと先輩方の応援あつてのことです。ありがとうございました！

次こそは優勝を目指して頑張ります！



★ジエンガ 第3位

初めてのホームマッチということもあり、とても緊張しましたが何より練習のときは全くちがう机の上での本番だったため、余計に緊張してしまいました。練習よりブロックを抜くときにグラグラと揺れてしまい、一生分のプレッシャーとスリルを味わったと思います。ですが、一緒のチームの仲間の子たちと協力して得られた結果にとっても満足しています。とても楽しかったですし、協力して何かを成すことができました。来年もまたできるのが楽しみです。

★高知西高校のホームマッチではクラスごとに体操服に装飾をしています。高知国際高校1年生もクラスの団結力をあらわすために各ホーム趣向を凝らし、ワッペンを製作しました。

コロナの影響でホームマッチがどうなるかわからず、準備にとりかかることがぎりぎりになってしまいました。クラスみんなで意見を出し合った結果、「ひつじのショーン」と1-5H(いちのご)をあらわすイチゴをつくりました。製作がギリギリで大変な場面もありましたが、5Hの心に残る思い出の一つになったと思います。



ショート訓練

総務部防災担当 森 知子

毎年、8月30日から9月5日の1週間は、災害についての認識を深め、備えを充実させる「防災週間」です。これに合わせて、高知西高校・高知国際高校・高知国際中学校で8月30日から9月2日までの4日間、**防災のショート訓練**を実施しました。1日1回、抜き打ちで、授業中だけでなく、いろいろな時間帯で行いました。本年度は授業中、掃除の時間、朝のショートホーム後に校内放送で緊急地震速報を流し、その時にいる場所に応じて、各自で臨機応変に対応してもらいました。生徒の皆さんからは、「抜き打ちなので地震はいつ起こるかわからないと実感できた」、「教室以外ではどうしていいかわからなかったのでもいい経験になった」などの意見が多く寄せられました。また、「机と机の間が狭くて入れない」、「休み時間も緊急地震速報を流してほしい」などの意見も寄せられました。来年度は寄せられた意見を反映し、みなさんが日頃から防災意識を持って生活できるよう、ショート訓練を行いたいと思います。

修学旅行♪

1年学年団

令和4年度の10月には高校2年生(現1年生)の修学旅行が予定されています。本校の修学旅行のコースは、①「海外交流」をテーマとした**Communicationコース**(グアム)、②「学び」をテーマとした**Studyコース**、③「自主企画」をテーマとした**Planコース**(西日本方面)の3つです。

そのうち、Planコースは、自分たちで旅のねらいを考え、自分たちで行くかを決め、自分たちで旅行会社の方と話し合い、自分たちで修学旅行を運営しています。立候補で集まった修学旅行検討委員会メンバーが中心となり、ディスカッションを重ね、Planコースの旅行先は関西方面と九州方面の2つになりました。

7月5日(月)には検討委員会メンバーが、1年生全体に向け、どのような旅行プランを企画したのか説明会を行いました。



【修学旅行説明会の様子】

いろいろな活動紹介

★高知国際高校には部活動などには登録はされていませんが、いろいろな活動をしている人がいます。今回は、音楽とハンドボール（女子）の紹介をします。

音楽の活動

音楽の活動として合唱をしています。夏休み前にミニコンサートを行いました。ミニコンサートに向けて私たちは先輩や先生方に教わりながら何度も練習を重ねました。音取りだけでなく、言葉をはっきり言うために歌詞を読んだりもしました。現在、音楽の活動は、1年生の三人で活動しながら、毎週火曜日と木曜日の放課後一時間程度練習しています。今は10月に行われる文化芸術発表会に向けて練習をしています。人数は少ないですが、楽しく活動しているので興味を持ってくれた方は、ぜひ西校舎4階校友会室にのぞきに来てみてください。



【図書室でのミニコンサートの様子】

ハンドボール（女子）の活動

新生の女子ハンドボールのチームです。現在活動している人は10人で、全員が初心者なりに毎日練習を頑張っています。11月には初めての大会があり、そのためにも日々仲を深めながら笑顔で練習に励んでいます。以前まで、あまりシュートを決めることができませんでしたが、今ではゴールキーパーがいてもコースを狙って投げられるようになりました。これから大会で勝てるようにもっと練習を頑張るので、応援をよろしく願います。

随想…先生人語(夏休みにやったこと、考えたこと)

「オムライスのその先は…」

夏休みのある日、天気良かったので自転車に乗り、密ではないどこかへ出かけたいと考えました。自宅から自転車で行ける所で、どこかないかなとインターネットで調べ、自宅から10kmほどにある日高村のオムライス街道に行くことにしました。お店もしっかりサーチするなど計画を立て、いざ出発。美しいに淀川沿いなどを通り、目的のお店に到着。さあオムライスを頼もうとメニューを見たら、私の目に「カレー」という字が飛び込んできました。その10秒後、私は店員さんに「カレー」を頼みました。

実は昨年くらいから「直感」を大切にしています。「予定していたこと」を実行することも大切ですが、その時その時の感覚や自分の内なる声を大事にしたいと考えています。自己の研鑽のための研修を選ぶとき、新たなチャレンジをするときなど、仕事、プライベートを問わず直感も大切にして、行動を選択しています。

「夏期補習、頑張りました」

高知国際高校では、7月21日、26日～30日、8月17日～19日の合計9日間、夏期補習を行いました。70分×3コマの日程で、各教科の教員が生徒の皆さんの成長を願い準備した授業を実施しました。どの授業も、教員と生徒が共に成長を目指して学ぶ雰囲気があり、有意義な時間となりました。

※写真は、数学の補習で、単元全体の重要項目を、付箋を使ってグループで整理し、発表しているところです。

進路指導部 1年2H担任 宇賀 義幸



数学の補習の様子

「自分らしく生きる」時代だからこそ

ICT 教育部 地理歴史・公民科 藤澤 誉文

この夏は、コロナと長雨でほとんど外に行くことができなかった。そのおかげで、間もなく始まる DP の授業の確認や、気になっていた本を読むことができた。読んだ本の中に、『無理ゲー社会』という本があった。現在の資本主義社会は「自分らしく生きたい」「より幸せ（ゆたか）になりたい」という“夢”を効率的に叶えるとして世界中に拡大した経済制度であり、現在も「リベラル化、知識社会化、グローバル化」の巨大な潮流に人々を巻き込みながら成長していると。確かに、巷には『実践！世界一ふざけた夢の叶え方』や『元ニートが語る破天荒な夢の叶え方』など夢のかなえ方や夢をかなえるための生き方を紹介する本があふれている。私も、結構お世話になってきたのだが。

私も、振り返ると高校時代に「日本一の地理の先生になるんだ！」という夢を持って、教育学部のある大学に進学し、その後は高知で高校教員生活を送ってきた。臨時講師の時期も含めると20年近く働いているのであるが、本当に多くの人に出会い、多くのチャンスをいただいていた。そのおかげで今、日本で初めての日本語 DP 地理の授業に関わろうとしている。日々の生活は大変忙しいが、私の夢も少しずつ実現してきているのかなと実感する。

ところで先日、私の子供に「将来はお金を多く稼げる仕事につかなきゃね」という話をしたら、「仕事はお金のためにするんじゃないし」と返された。「この子は神かあ〜」と心の中で思わず叫んでしまったが、冷静に考えると、時代はもうそんなところまで来ていることを思い知らされる。こういう時代だからこそ、表面だけの自分らしさや夢という言葉に振り回されない、信念のある人を育てなければいけないと強く感じた。

基礎基本の大切さ

生徒指導主事 米女 啓司

今夏、東京オリンピック・パラリンピックが開催され、多くの感動・勇気をもらいました。私自身柔道を志した者として、とりわけ柔道競技には力が入りました。自分の経験から、強くなる、上達するためには、基礎体力・基本技術がいかに大切であるかを痛感しました。得意な組手を作る腕力、姿勢を崩さない足腰・体幹の強さ、戦い続けるスタミナ、技の正確さなどの基礎（土台）が無ければ、いくら高度な技術・戦術を身につけても全く通用しません。トップアスリートが競うオリンピックの試合でも、競った試合になればなるほどこの基礎・基本がよりしっかりしている選手が、最終的に勝利を収めていたと思います。

基礎・基本の大切さはスポーツだけでなく、習い事・勉強・生活すべての面でいえることだと思います。

生活での基礎・基本は、健康面では、適切な食事・運動・休養といった生活習慣、社会面では、挨拶ができる、時間を守る、規則・マナーを守る等、あたり前を当たり前に行えることです。挨拶一つできない者が社会においてコミュニケーション図れますか？人間関係はお互いの信頼で成り立つものです。多くの理屈を語るのではなく、まずは基本的なことがしっかりできているかだと思います。

新しいことや今までと違うことをやろうとしたとき、どうしても表面的で華やかなところに目が行きがちになってしまいます。しかし、最終的には地道にどんな状況でも同じことがしっかりできる土台ができていくことが成功への近道だと思います。「自ら学び、考える力を身につけ、生涯にわたって学び続ける態度を養う」その「学び方を学ぶ」ためにも、基礎・基本を疎かにせず前に進んでいきましょう。

いよいよDPコース始動！

DP（ディプロマ・プログラム）が始まります！

DPコーディネーター 石丸 右京

高知国際高等学校は、世界基準の教育プログラムを提供している国際バカロレア機構から、令和3年1月にDP認定校に認定されました。DPとは、国際バカロレア機構が定めたカリキュラムを2年以内で履修し、高校3年次の夏から秋にかけて行われる最終試験で所定の成績を収めると、国際的に認められる大学入学資格（国際バカロレア資格）を取得できるプログラムです。

本校グローバル科DPコースで、いよいよこの**11月からDPが始まります**。1期生21名が、国際バカロレア資格の取得に向けて学んでいきます。授業は、まるで大学の授業のように、生徒が積極的に発言や議論をしたり、議論のために文献を読み込んだり、振り返りをして次の学びにつなげたりします。授業は受け身では決して成立せず、先生よりもむしろ仲間同士で授業を作り上げていくイメージかもしれません。そのためには、生徒のみなさんの知りたい、学びたい、勉強したいという気持ちが必要です。ぜひ高い意識を持って取り組んでほしいと思います。

※ DPについてさらに詳しい説明は、本校ホームページ、国際バカロレアの項において、DPだよりをアップしておりますので、そちらもご覧ください。国際バカロレア資格がどう役立つかなども掲載しております。



国際バカロレア DPロゴ

★興味深い2つの授業をご紹介します！

TOKとは

TOK担当 佐野 武、松本 侑樹

「**知の理論(TOK)**」は、DPコースの生徒全員が履修する「コア」の3つの要素のひとつです。生徒は、知識の性質と知るプロセスについて探究し、振り返ります。TOKは、自分も持っている前提やものの見方に対する自覚を高めるとともに、ものの見方の多様性と豊かさを考慮し、複雑な問題を慎重に深く考察するよう、生徒に促します。

TOKの主なねらいは、生徒が新しい知識を習得することではなく、生徒がすでに知っていることを振り返り、それをより大きな視座のなかでとらえられるようになることです。

DP 数学とは

DP 数学担当 キンタナー ソニア

It's my pleasure to introduce to you the DP mathematics courses. Mathematics is the study of numbers, quantity, and space. We can study mathematics itself or we can use it to improve our world and lives. In the DP maths program, there are two courses that focus on these different ways of using math. Applications and Interpretations (AI) will study how we use mathematics in the world and our everyday lives. Analysis and Approaches (AA) will study mathematics itself. I hope we will all enjoy these new ways of studying math together!

DP 数学では、数や量、空間の勉強（AA）に加え、数学をどのように日常で応用し、私たちの世界や生活を向上させるか（AI）にもフォーカスを当てます。新しい数学の学び方を一緒に楽しみましょう。

★新任教員紹介！

高知国際高等学校に英語の講師としてスパーリング ロバート先生が赴任しました。1年生の英語の授業に入ります。

スパーリング ロバート先生の挨拶

Hello! My name is Robert Sparling and I've recently been hired to teach at Kochi Kokusai High School. I am originally from the state of New York in the United States and have lived in several parts of that country. I have a BA in Literature and have been a teacher for several years. I was previously employed at a school for gifted/high achieving students in Denver, Colorado. I am looking forward to the new challenge awaiting me in Kochi. In addition, I worked as a chef for ten years so I am very intrigued by Japanese cuisine and specifically by the vegetables and ingredients I'm discovering in Kochi! I will gladly accept any recipes you have to offer. It is a pleasure to be here.

私はロバート・スパーリングといいます。この度、高知国際高校に勤務することになりました。アメリカ合衆国のニューヨーク州出身で、国内色々な場所で暮らしたことがあります。大学では英文学専攻し、その後何年か教員として働きました。

コロラド州のデンバーという町では、ギフトドチルドレンのための学校で雇われていたこともあります。高知での新しい挑戦にワクワクしています。私はシェフとしても10年間働いたことがありますので、日本料理、特に最近高知で発見しつつある野菜や食材にとっても興味を持っています！おすすめレシピがあつたら喜んで何でも受け付けますので教えてください。ここで働けて光栄です。



高知県立高知国際中学校・高等学校
〒780-8052 高知県高知市鴨部2丁目5番70号

TEL : 088-844-1221 FAX: 088-844-4823
URL : <http://www.kochinet.ed.jp/kokusai-jh/>
Email : kokusai-jh@kochinet.ed.jp

